

北大—産総研 包括連携等事業ワークショップ  
～”大規模”シミュレーションを“繋ぐ!” 連携シミュレーションについて考える～

趣旨：北海道大学情報基盤センターでは、並列化版 OCTA/COGNAC7.1 の利用サービスをスーパーコンピュータ HITACHI SR16000/M1 で行っており、主記憶容量 100GB までの大規模 SMP 並列処理を行うことができます。今後のニーズとして、SMP 並列処理だけでなく、MPI 並列処理にも期待が集まり、LAMMPS 等を含めたさまざまなシミュレータへのニーズが出てきております。例えば、2013 年夏に北海道大学で開催した際のテーマである可視化をはじめとしたプリ・ポスト作業用としてのプラットフォーム自体におけるニーズがあります。

そこで、今回のワークショップでは、“大規模シミュレーション”と“繋ぐ”の2つをテーマとして、開催いたします。特に、後者はシミュレータ間あるいはプリ・ポストとの間等の間を”繋ぐ”ためにはどうするのかについて、テーマといたします。これらのテーマに関係する方々を講師としてお招きし、大規模シミュレーションの利用について議論を行う予定です。奮ってご参加いただけますようお願いします。

日時： 2014 年 1 月 23 日(木) 10:30 ～ 16:25

場所： (独)産業技術総合研究所 臨海副都心センター 本館 第1会議室

申込： メールで下記までお申込みください。1月20日(月)締切  
(当日受付は致しかねますので、ご注意ください)

[hokudai-aist-ws-ml@aist.go.jp](mailto:hokudai-aist-ws-ml@aist.go.jp)

定員： 50 名

参加費： 無料

プログラム (敬称略)

10:30-10:40 開会のご挨拶

10:40-11:30 基調講演：架橋ゴムの大規模シミュレーション

(関東学院大)

柳生 裕聖

11:30-12:00 高分子素材開発における分子シミュレーションの利用

(日東電工)

島津 彰

12:00-12:30 フェノール樹脂架橋ネットワーク構造の全原子 MD シミュレーション

(住友ベークライト)

和泉篤士

休憩(60分)

- 13:30-14:00 大規模粗視化分子動力学法によるゴム特性のメカニズム解析  
(トヨタテクニカルディベロップメント) 永治 健太郎
- 14:00-14:30 OCTA/J-OCTA の LAMMPS/GROMACS インターフェイスと今後の展望  
(JSOL) 小沢 拓
- 14:30-15:00 OCTA/COGNAC の北大スパコンにおける現状  
(産総研) 森田 裕史

休憩(15分)

- 15:15-15:45 SUSHI による連携シミュレーション  
(日本ゼオン) 本田 隆
- 15:45-16:15 SUSHI-光学シミュレーション連携  
(北大) 大宮 学
- 16:15-16:25 閉会の挨拶

問い合わせ先

北海道大学 情報基盤センター 教授 大宮 学

(独)産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 主任研究員 森田裕史

連絡先メールアドレス: [hokudai-aist-ws-ml@aist.go.jp](mailto:hokudai-aist-ws-ml@aist.go.jp)